

茨城大学理学部研究室訪問交流会のご案内

主催 茨城産業会議／茨城大学

茨城産業会議・茨城大学は産学連携事業として、例年、茨城大学理学部の研究室訪問交流会を行っています。本交流会は、大学の有するシーズの提供や情報交換を通じ産業経済界の活性化に資するもので、多くの貴重な情報が得られると好評です。

今回は、2つの特別講演聴講と2つの研究室を訪問していただく内容にいたしました。多数の方々のご参加をお待ちしております。

1. と き：平成22年2月12日(金) 13:30～18:00 (受付開始13:00～)
2. と ころ：茨城大学理学部 K棟 1階 インビュースタジオ (水戸市文京 2-1-1 TEL:029-228-8334)
3. 集 合：13:20 までに茨城大学理学部K棟1階「インビュースタジオ」にご集合下さい。
4. 定 員：50名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
5. 参加費：無料 (但し、懇親交流会参加者は1名1,000円をご負担いただきます)
6. 申込方法：別紙申込書にて以下の申込先にFAXまたはメールでお申込み下さい。

申込先団体	TEL/FAX
茨城大学学術企画部 (地域連携担当宛)	TEL:029-228-8605 FAX:029-228-8586 メール hosoya@mx.ibaraki.ac.jp
(社)茨城県経営者協会 (茨城産業会議事務局)	TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109 メール info@ikk.or.jp
茨城県商工会議所連合会	TEL:029-226-1854 FAX:029-224-7117
茨城県商工会連合会	TEL:029-224-2635 FAX:029-226-0955
茨城県中小企業団体中央会	TEL:029-224-8030 FAX:029-224-6446

< 内容 >

時間	内 容
挨拶 13:30～13:40	茨城大学理事・副学長(学術担当) 松田智明 (まつだとしあき)氏 茨城大学理学部長 坂田文彦氏
特別講演 13:50～15:30	①大気環境計測機器の開発と実用化(13:50～14:40) 北 和之氏(理学部・准教授) 茨城県の補助で、大気環境計測機器を開発し、特許出願、茨城県企業と製品化した経験のもとに、大学の技術力を地元企業の製品開発に結び付ける道筋についてご紹介いただきます。 ②中性子散乱による電池材料の構造解析(14:40～15:30) 佐久間 隆氏(応用粒子線科学専攻・教授) 最近、燃料電池の開発に、多くの企業が取り組んでいます。燃料電池で使用される固体電解質の構造と原子の熱振動に関する基礎的な研究についてご紹介いただきます。
研究室訪問 技術相談会 15:50～16:50	(2～3グループに分かれてローテーションで見学) ①北研究室(G棟114室) ②佐久間研究室(G棟110室:熱分析装置、111室:X線回折装置及び交流電導度測定装置) (化学、物理学、ナノテク、環境などの技術相談、産学共同研究に関する相談会) ○相談内容について別紙申込書にご記入願います。 ※茨城大学理学部の研究内容について詳しくお知りになりたい場合は、 同学部のホームページをご参照ください。(http://www.sci.ibaraki.ac.jp/)
懇親交流会 17:00～18:00	「茨苑会館1階 SHIEN」にて開催(会費 1,000円)

【特別講演の要旨】

①大気環境計測機器の開発と実用化(13:50～14:40)

北 和之氏(理学部・准教授)

現在、地球規模の環境問題は大きな社会問題となっており企業や国・自治体なども、環境に配慮したアクションをとるようになり、環境計測のニーズは今後大きくなっていく可能性が高くなっております。この分野においても、新しい技術を開発し、特許を取得できれば、そのあとの製品化においてもアドバンテージを取ることができます。茨城県の補助で、大気環境計測機器「二酸化窒素光分解コンバーター」を開発し、特許出願、茨城県企業と製品化した経験をもとに、大学の技術力を地元企業の製品開発に結び付ける道筋について紹介します。

②中性子散乱による電池材料の構造解析(14:40～15:30)

佐久間 隆氏(応用粒子線科学専攻・教授)

日々の生活に、携帯電話やiPodなどの機器を欠かすことができません。これらの機器には、充放電可能なリチウム二次電池が使用されています。最近では、自家発電を行うための燃料電池の開発に多くの企業が取り組んでいます。これらの電池で使用される固体電解質(電子は通さず、イオンのみを通過させる材料)の構造と原資の熱振動に関する基礎的な研究を行っています。平成20年から東海村のJ-PARCで、茨城県中性子材料構造解析装置iMATERIAの稼働が開始されました。この装置は、茨城大学が管理・運営を担当しています。エネルギー材料や機能性材料などの開発にこの装置を利用する目的で、「電池材料研究会」の活動を行っています。企業から提供された試料を用い、共同で電池標準材料の中性子回折実験を実施しています。水素、リチウムなど軽元素の構造や動きの研究に、中性子線は効果を発揮します。

茨城県経営者協会 FAX:029-224-1109

茨城大学学術企画部(地域連携担当) FAX:029-228-8586

茨城大学理学部 研究室訪問交流会 参加申込書

(平成22年 月 日申込み)

会社名				
参加者	所属・役職名	ご氏名	懇親交流会の出欠 (いずれかに○印)	
			参加	不参加
			参加	不参加
			参加	不参加
申込担当者の所属・ご氏名				
TEL: _____ FAX: _____				

※ 参加表は発行いたしません。当日、集合時間にご参集願います。

技術相談会(技術相談、産学共同研究に関する相談のご希望がございましたら下記にご記入ください)

相談内容	
相談者の役職・氏名	

